



2026年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2026年5月15日

上場会社名 ユタカフーズ株式会社

上場取引所 東名

コード番号 2806 URL <https://www.yutakafoods.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 橋本 淳

問合せ先責任者 (役職名) 業務部次長

(氏名) 齋藤 幸治

TEL 0569-72-1231

定時株主総会開催予定日 2026年6月24日

配当支払開始予定日

2026年6月25日

有価証券報告書提出予定日 2026年6月23日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	14,988	3.7	143	79.0	291	63.6	204	63.1
2025年3月期	14,455	4.7	681	16.2	800	14.8	553	20.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	29.41		0.9	1.1	1.0
2025年3月期	79.68		2.5	3.2	4.7

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	26,676	23,019	86.3	3,313.38
2025年3月期	25,755	22,504	87.4	3,239.14

(参考) 自己資本 2026年3月期 23,019百万円 2025年3月期 22,504百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	213	1,682	278	354
2025年3月期	1,408	4,124	278	2,529

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期		20.00		20.00	40.00	277	50.2	1.2
2026年3月期		20.00		20.00	40.00	277	136.0	1.2
2027年3月期(予想)		20.00		20.00	40.00		259.7	

3. 2027年3月期の業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,000	9.8	65	84.9	130	75.3	120	68.0	17.27
通期	15,900	6.1	10	93.0	111	61.8	107	47.6	15.40

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期	8,832,311 株	2025年3月期	8,832,311 株
期末自己株式数	2026年3月期	1,884,790 株	2025年3月期	1,884,661 株
期中平均株式数	2026年3月期	6,947,556 株	2025年3月期	6,947,731 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(持分法損益等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
2026年3月期決算参考資料	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境に改善がみられ緩やかな回復傾向で推移している中、国際情勢が緊迫化し資源価格が高騰していることや、金融市場の変動により、先行きは不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、継続する物価上昇による消費意欲の衰退、より一層食への安心・安全に対する関心が高まるとともに、原材料価格の高騰は続くと思われ、事業を取り巻く環境は厳しいものとなっております。

このような状況の中、当社は独自技術・設備を最大限に活用した商品展開、社会環境を踏まえた収益基盤の強化と安定稼働、持続的な企業価値の向上を目指す経営を基本方針として取り組み、当事業年度はチルド新工場の稼働を開始させるなど、経営効率の向上と利益目標の達成に取り組んで参りました。

この結果、当事業年度の経営成績は、売上高は14,988百万円と前年同期と比べ533百万円(3.7%)の増収となり、営業利益は143百万円と前年同期と比べ538百万円(79.0%)、経常利益は291百万円と前年同期と比べ509百万円(63.6%)、当期純利益は204百万円と前年同期と比べ349百万円(63.1%)の減益となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

液体部門は、受託数増加により、売上高は5,021百万円と前年同期と比べ290百万円(6.1%)の増収となりましたが、原材料費高騰の影響が大きくセグメント利益は122百万円と前年同期と比べ6百万円(4.8%)の減益となりました。

粉体部門は、顆粒製品の受託が伸び、売上高は5,227百万円と前年同期と比べ384百万円(7.9%)の増収となり、セグメント利益は398百万円と前年同期と比べ192百万円(93.1%)の増益となりました。

チルド食品部門は、新工場の稼働が開始し受託が増加したことにより、売上高は1,918百万円と前年同期と比べ116百万円(6.4%)の増収となりましたが、新工場稼働に伴う減価償却費及び諸経費の増加により、セグメント損失457百万円(前年同期は243百万円のセグメント利益)となりました。

即席麺部門は、前年並みに推移し、売上高は1,936百万円と前年同期と比べ20百万円(1.1%)の増収となりましたが、セグメント利益は64百万円と前年同期と比べ25百万円(28.4%)の減益となりました。

その他は、水産物の取扱量が減少し、売上高は884百万円と前年同期と比べ278百万円(23.9%)の減収となりましたが、セグメント利益は16百万円と前年同期と比べ2百万円(14.9%)の増益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当事業年度末における資産の部は26,676百万円となり、前事業年度末と比べ920百万円増加しました。これは主に、建物(純額)が7,661百万円、構築物(純額)が122百万円、機械及び装置(純額)が5,684百万円、未収消費税等が1,469百万円、投資有価証券が831百万円増加し、現金及び預金が2,193百万円、短期貸付金が5,300百万円、建設仮勘定が8,027百万円減少したことによるものであります。

負債の部は3,656百万円となり、前事業年度末と比べ405百万円増加しました。これは主に、買掛金が226百万円、繰延税金負債が221百万円、未払費用が116百万円増加し、未払法人税等が146百万円、未払消費税等が124百万円減少したことによるものであります。

純資産の部は23,019百万円となり、前事業年度末と比べ515百万円増加しました。これは主に、その他有価証券評価差額金が589万円増加し、利益剰余金が73百万円減少したことによるものであります。

この結果、当事業年度末の自己資本比率は86.3%(前事業年度末は87.4%)、1株当たり純資産は3,313円38銭(前事業年度末は3,239円14銭)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は354百万円となり、前事業年度末と比べ2,175百万円(86.0%)の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において営業活動により使用した資金は238百万円(前年同期は1,408百万円の増加)となりました。主な要因は、税引前当期純利益288百万円及び減価償却費1,263百万円による資金の増加と未収消費税等の増減額1,469百万円及び法人税等の支払額250百万円による資金の減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において投資活動の結果使用した資金は1,658百万円となり、前年同期と比べ2,465百万円(59.8%)の減少となりました。使用した資金の主な要因は、有形固定資産の取得による支出6,796百万円と貸付金の回収による収入5,300百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において財務活動の結果使用した資金は278百万円となり、前年同期と比べ0百万円(0.2%)の増加となりました。なお、財務活動による主な支出は、配当金の支払によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、賃上げによる所得の増加に伴い国内経済は緩やかな回復基調が続くものの、中東情勢など地政学リスクの影響等により原材料、エネルギー価格の上昇による継続的な物価上昇が懸念され、先行きは不透明で経営環境は依然として厳しい状況で推移することが予想されます。

食品業界におきましても、原材料コストの上昇は継続していき厳しい経営環境が続いていくと予想されます。また、人口減少と高齢化の進展、食の安心・安全に対する意識の高まりなどは依然として続いております。

このような状況の中で、当社は2026年3月期からの中期経営計画において独自技術・設備を最大限に活用した商品展開、社会環境を踏まえた収益基盤の強化と安定稼働、持続的な企業価値の向上を目指す経営を基本方針として取り組んでおります。

さらに、企業活動における社会的責任の重さを充分認識し、環境保全活動への取り組み、コンプライアンス体制の強化等を推進し、お客様に信頼される企業を目指し、積極的に事業を展開し、社業の発展を図る所存であります。

なお、通期の業績予想につきましては、売上高15,900百万円（前期比6.1%増）、営業利益10百万円（前期比93.0%減）、経常利益111百万円（前期比61.8%減）、当期純利益107百万円（前期比47.6%減）を目標としております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準に基づき財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用に関しましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,547	354
売掛金	1,857	2,008
商品及び製品	499	554
仕掛品	27	24
原材料及び貯蔵品	314	336
前払費用	2	0
関係会社短期貸付金	5,500	200
未収消費税等	—	1,469
その他	85	95
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	10,828	5,036
固定資産		
有形固定資産		
建物	6,514	14,470
減価償却累計額	△4,523	△4,817
建物(純額)	1,991	9,652
構築物	836	996
減価償却累計額	△394	△432
構築物(純額)	441	564
機械及び装置	9,140	14,695
減価償却累計額	△7,956	△7,827
機械及び装置(純額)	1,183	6,867
車両運搬具	58	59
減価償却累計額	△55	△57
車両運搬具(純額)	2	2
工具、器具及び備品	729	974
減価償却累計額	△656	△713
工具、器具及び備品(純額)	72	261
土地	869	869
リース資産	6	6
減価償却累計額	△4	△6
リース資産(純額)	1	0
建設仮勘定	8,081	53
有形固定資産合計	12,644	18,272
無形固定資産		
ソフトウェア	34	221
その他	6	6
無形固定資産合計	40	227

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当事業年度 (2026年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	2,136	2,967
関係会社株式	32	32
出資金	0	0
長期前払費用	8	89
前払年金費用	4	9
繰延税金資産	20	—
入会金	14	14
その他	25	26
投資その他の資産合計	2,242	3,139
固定資産合計	14,927	21,639
資産合計	25,755	26,676
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,090	1,316
リース債務	1	0
未払金	408	503
未払費用	313	429
未払法人税等	146	—
未払消費税等	124	—
前受金	0	0
預り金	5	6
賞与引当金	161	155
役員賞与引当金	13	7
流動負債合計	2,264	2,419
固定負債		
リース債務	0	—
繰延税金負債	—	221
退職給付引当金	979	1,006
役員退職慰労引当金	6	8
固定負債合計	986	1,236
負債合計	3,251	3,656
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,160	1,160
資本剰余金		
資本準備金	1,160	1,160
資本剰余金合計	1,160	1,160
利益剰余金		
利益準備金	167	167
その他利益剰余金		
別途積立金	12,220	12,220
繰越利益剰余金	10,379	10,305
利益剰余金合計	22,766	22,693
自己株式	△3,458	△3,458
株主資本合計	21,629	21,555
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	874	1,463
評価・換算差額等合計	874	1,463
純資産合計	22,504	23,019
負債純資産合計	25,755	26,676

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高		
製品売上高	13,292	14,103
商品売上高	1,162	884
売上高合計	14,455	14,988
売上原価		
商品期首棚卸高	0	0
製品期首棚卸高	583	499
当期商品仕入高	1,124	849
当期製品製造原価	11,772	13,257
合計	13,481	14,606
他勘定振替高	9	9
商品期末棚卸高	0	1
製品期末棚卸高	499	553
売上原価合計	12,972	14,042
売上総利益	1,482	945
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	283	295
販売促進費	12	10
貸倒引当金繰入額	0	0
役員報酬	53	48
給料	124	124
賞与	51	42
賞与引当金繰入額	19	20
役員賞与引当金繰入額	13	7
退職給付費用	16	17
役員退職慰労引当金繰入額	1	1
減価償却費	13	26
その他	211	206
販売費及び一般管理費合計	800	802
営業利益	681	143

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業外収益		
受取利息	43	46
受取配当金	66	82
不動産賃貸料	7	8
雑収入	11	19
営業外収益合計	129	156
営業外費用		
賃貸費用	2	2
減価償却費	6	5
雑支出	0	0
営業外費用合計	9	8
経常利益	800	291
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	-	63
補助金収入	-	14
特別利益合計	0	79
特別損失		
固定資産除売却損	14	27
固定資産撤去費用	0	50
投資有価証券売却損	-	4
特別損失合計	14	81
税引前当期純利益	787	288
法人税、住民税及び事業税	242	109
法人税等調整額	△9	△24
法人税等合計	233	84
当期純利益	553	204

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本									評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 別途積立金	繰越利益剰余金					利益剰余金合計	
当期首残高	1,160	1,160	1,160	167	12,220	10,103	22,491	△3,457	21,354	803	803	22,157
当期変動額												
剰余金の配当						△277	△277		△277			△277
当期純利益						553	553		553			553
自己株式の取得								△0	△0			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)										71	71	71
当期変動額合計	-	-	-	-	-	275	275	△0	275	71	71	346
当期末残高	1,160	1,160	1,160	167	12,220	10,379	22,766	△3,458	21,629	874	874	22,504

当事業年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本									評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 別途積立金	繰越利益剰余金					利益剰余金合計	
当期首残高	1,160	1,160	1,160	167	12,220	10,379	22,766	△3,458	21,629	874	874	22,504
当期変動額												
剰余金の配当						△277	△277		△277			△277
当期純利益						204	204		204			204
自己株式の取得								△0	△0			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)										589	589	589
当期変動額合計	-	-	-	-	-	△73	△73	△0	△73	589	589	515
当期末残高	1,160	1,160	1,160	167	12,220	10,305	22,693	△3,458	21,555	1,463	1,463	23,019

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2024年 4月 1日 至 2025年 3月 31日)	当事業年度 (自 2025年 4月 1日 至 2026年 3月 31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	787	288
減価償却費	620	1,263
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5	△5
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1	△5
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	11	27
前払年金費用の増減額 (△は増加)	0	△4
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1	1
有形固定資産売却益	△0	△1
有形固定資産除却損	14	27
有形固定資産撤去費用	0	50
補助金収入	-	△14
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△59
受取利息及び受取配当金	△110	△129
売上債権の増減額 (△は増加)	△60	△150
棚卸資産の増減額 (△は増加)	52	△74
仕入債務の増減額 (△は減少)	△30	226
未収消費税等の増減額 (△は増加)	-	△1,469
未払消費税等の増減額 (△は減少)	124	△124
長期前払費用の増減額 (△は増加)	15	△80
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	86	△13
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△8	110
小計	1,497	△136
利息及び配当金の受取額	108	133
補助金の受取額	-	14
法人税等の支払額	△196	△250
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,408	△238
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△678	△27
定期預金の払戻による収入	1,584	45
有形固定資産の取得による支出	△5,029	△6,796
有形固定資産の売却による収入	0	1
有形固定資産の除却による支出	△0	△50
無形固定資産の取得による支出	△0	△213
投資有価証券の売却による収入	-	83
その他の支出	△1	△0
その他の収入	0	0
貸付金の回収による収入	-	5,300
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,124	△1,658
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△1	△1
配当金の支払額	△276	△277
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△278	△278
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,993	△2,175
現金及び現金同等物の期首残高	5,523	2,529
現金及び現金同等物の期末残高	2,529	354

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別の部門を置き、各部門は、取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は、部門を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「液体」「粉体」「チルド食品」及び「即席麺」の4つを報告セグメントとしております。

「液体」は、うなぎのたれ及び液体スープ等を生産しております。「粉体」は、粉末スープ、顆粒製品及び機能性食品等を生産しております。「チルド食品」は、焼そば及び生ラーメン等を生産しております。「即席麺」は、袋麺及びカップ麺等を生産しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計 (注) 2
	液体	粉体	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
顧客との契約から生じる 収益	4,731	4,842	1,802	1,916	13,292	1,162	14,455
外部顧客への売上高	4,731	4,842	1,802	1,916	13,292	1,162	14,455
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,731	4,842	1,802	1,916	13,292	1,162	14,455
セグメント利益	128	206	243	90	667	13	681
セグメント資産	3,434	4,418	10,248	2,741	20,842	175	21,018
その他の項目							
減価償却費	162	192	85	180	620	—	620
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	46	85	5,274	23	5,429	—	5,429

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品（冷凍魚ほか）であります。

2 売上高及びセグメント利益は、損益計算書の売上高及び営業利益と一致しております。

当事業年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計 (注)2
	液体	粉体	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
顧客との契約から生じる 収益	5,021	5,227	1,918	1,936	14,103	884	14,988
外部顧客への売上高	5,021	5,227	1,918	1,936	14,103	884	14,988
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	5,021	5,227	1,918	1,936	14,103	884	14,988
セグメント利益又は損失(△)	122	398	△457	64	127	16	143
セグメント資産	2,645	3,594	15,110	1,787	23,137	183	23,321
その他の項目							
減価償却費	153	193	747	169	1,263	—	1,263
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	40	112	6,926	26	7,105	—	7,105

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品(冷凍魚ほか)であります。

2 売上高及びセグメント利益又は損失(△)は、損益計算書の売上高及び営業利益と一致しております。

4 報告セグメント合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

資産	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	20,842	23,137
「その他」の区分の資産	175	183
全社資産(注)	4,736	3,354
財務諸表の資産合計	25,755	26,676

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、投資有価証券であります。

(単位:百万円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		財務諸表計上額	
	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度
減価償却費	620	1,263	—	—	—	—	620	1,263
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	5,429	7,105	—	—	—	—	5,429	7,105

【関連情報】

前事業年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
東洋水産株式会社	9,689	液体、粉体、チルド食品、即席麺及びその他

当事業年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
東洋水産株式会社	10,075	液体、粉体、チルド食品、即席麺及びその他

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(持分法損益等)

前事業年度及び当事業年度においては、関連会社の重要性が乏しいため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり純資産額及び算定上の基礎並びに1株当たり当期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度末 (2025年3月31日)	当事業年度末 (2026年3月31日)
(1) 1株当たり純資産額	3,239円14銭	3,313円38銭
(算定上の基礎)		
純資産の部の合計額(百万円)	22,504	23,019
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	22,504	23,019
普通株式の発行済株式数(株)	8,832,311	8,832,311
普通株式の自己株式数(株)	1,884,661	1,884,790
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	6,947,650	6,947,521

項目	前事業年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当事業年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
(2) 1株当たり当期純利益	79円68銭	29円41銭
(算定上の基礎)		
当期純利益(百万円)	553	204
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(百万円)	553	204
普通株式の期中平均株式数(株)	6,947,731	6,947,556

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2026年3月期決算参考資料

2026年5月15日

ユタカフーズ株式会社

1. 当期の業績

売上高	149億88百万円	(前期比 3.7%増)
営業利益	1億43百万円	(前期比 79.0%減)
経常利益	2億91百万円	(前期比 63.6%減)
当期純利益	2億04百万円	(前期比 63.1%減)

1株当たり当期純利益は29円41銭となりました。

2. 配当状況

当期の期末配当金は、1株につき20円00銭とし、年間配当金は中間配当金20円00銭を加えた40円00銭とさせていただきます。

配当性向は136.0%であります。

3. 財政状態

総資産	266億76百万円
純資産	230億19百万円
自己資本比率	86.3%

1株当たり純資産 3,313円38銭であります。

4. 当期の業績の概要

(1) 設備投資

当期の設備投資額は、71億5百万円で主なものは次のとおりであります。

本社工場	チルド新工場関連設備	69億26百万円
	液体製造設備	15百万円
	粉体製造設備	20百万円
鳥取工場	粉体製造設備	80百万円

(2) 売上高 (セグメント別売上実績)

(単位: 百万円)

部 門 名	前期(2024年4月~2025年3月)		当期(2025年4月~2026年3月)		前期比 増減
液体	4,731	32.7%	5,021	33.5%	6.1%
粉体	4,842	33.5	5,227	34.9	7.9
チルド食品	1,802	12.5	1,918	12.8	6.4
即席麺	1,916	13.3	1,936	12.9	1.1
その他	1,162	8.0	884	5.9	△ 23.9
合 計	14,455	100.0	14,988	100.0	3.7

(3) 販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費は、前期に比べ1百万円増加しました。

(4) 減価償却費

2026年3月期(実績)	本社工場	11億26百万円
	鳥取工場	1億36百万円
2027年3月期(予想)	本社工場	20億72百万円
	鳥取工場	1億57百万円

5. 次期の業績の概要

(1) 次期の業績予想

第2四半期	売上高	80億00百万円	(前期比 9.8%増)
	営業利益	65百万円	(前期比 84.9%減)
	経常利益	1億30百万円	(前期比 75.3%減)
	当期純利益	1億20百万円	(前期比 68.0%減)
通 期	売上高	159億00百万円	(前期比 6.1%増)
	営業利益	10百万円	(前期比 93.0%減)
	経常利益	1億11百万円	(前期比 61.8%減)
	当期純利益	1億07百万円	(前期比 47.6%減)

と見込んでおります。

(2) 設備投資

次期の設備投資額は、 本社工場 1億26百万円
鳥取工場 2億34百万円 を予定しております。

(3) 売上高 (セグメント別売上予想)

(単位：百万円)

部 門 名	上半期	下半期	通 期
液体	2,675	2,400	5,075
粉体	2,615	2,820	5,435
チルド食品	1,480	1,200	2,680
即席麺	880	1,170	2,050
その他	350	310	660
合 計	8,000	7,900	15,900

6. 過去10年間の業績の推移

(単位：百万円)

期 別	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2026年3月期	14,988	143	291	204
2025年3月期	14,455	681	800	553
2024年3月期	13,804	586	697	459
2023年3月期	13,740	892	1,010	683
2022年3月期	15,010	1,358	1,459	1,008
2021年3月期	15,347	1,393	1,481	990
2020年3月期	20,285	1,015	1,119	976
2019年3月期	21,269	1,161	1,277	1,025
2018年3月期	22,191	985	1,089	640
2017年3月期	20,440	1,007	1,123	716

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2022年3月期の期首から適用しており、2021年3月期に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標となっております。